

高知くらしの護身術

257

扇風機の火災事故

長期使用の劣化に注意

(2012年8月21日掲載原稿)

今年の夏も、電力事情と相まって節電を求められています。このためエアコンと同時に使えば効果が上がるとして扇風機の売れ行きも良いようです。

「新しく扇風機を買わなくても家には10年以上大切に使っている扇風機があるよ」という方もいると思いますが、長期使用している扇風機から発煙や発火があり、怪我人が出たとの事故情報をご存じですか。

原因は長期間にわたって使用している間に、コンデンサー（電子部品）が絶縁劣化を起こし、ショートしたために火災に至ったものです。物を大事に使うことは良いことですが、製品は少しずつ劣化するので、

- ①スイッチを入れてもファンが回らない
- ②ファンの回転が遅かったり、不規則だったりする
- ③モーター部分が熱い、焦げ臭い
- ④モーターから異常な音がする
- ⑤コードが折れ曲がったり破損している
- ⑥スイッチを入れても回らないが、叩くと回り出す

といった6つの症状の1つでも該当すれば使用を中止して、お買い上げの販売店またはメーカーにご相談ください。

製品事故は全く予期できないことも多く、一旦起こってしまうと命にかかわることもあります。怪我をしたのは製品が関係しているといった情報はもちろんですが、ヒヤリとした、ハッとされたといった、製品事故につながる情報についても迷わずセンターに連絡してください。センターでは同じような事故が再び起きないように原因等を調査する機関や消費者庁に報告し、消費者に向けて注意喚起をしています。